

設楽の賢人

旧津具村の「旗本退屈男」の著者佐々木味津三を始めとする七賢人の名前は、皆さんの知るどころですが、他にも町内ゆかりの方々が全国的に活躍しております。

たとえば平成十三年に放映されたNHKプロジェクトX「白鷺舞え空前の解体工事、定年前

の大仕事」の主人公は設楽町田内出身の加藤得二が工事主任として活躍した内容で、見た人に大きな感動を与えたと思います。

しかしこの大仕事をなし遂げたのが同じ本町出身の匠であることは、意外と知られていないのではないかと思います。

このたび機会を得ましたので、設楽町が生んだ多くの匠たちが全国を舞台に大活躍をした状況を紹介させていただきます。今回その先駆けというべき人について書いてみようと思います。特に文化財建造物の修復の匠で前出の加藤得二を始め、国宝犬山城天守閣の修理工事主任安藤守人等々多くの匠に大きな影響を与えた人物を紹介します。

その人の名は本間兼五郎、旧姓を遠山といい、設楽町長江に明治十九年遠山源造・まつの子として誕生、明治三十二年牛久

保の堂宮大工花田棟梁に師事、日々建築技術の研鑽に励んだ結果、その技を認められて全国的に特別保護建造物(後の国宝建造物)等々の修復作業に携わり、多くの業績を残すこととなります。

本間兼五郎年表(業績)

明治二十五年 設楽町八橋尋常小学校入学

明治二十九年 田口尋常高等小学校入学、三十三年同校卒業

明治三十二年 宝飯郡牛久保町堂宮大工棟梁花田源治郎入門、建築技術を習得、研鑽

明治三十五年〜大正九年頃 県内を始め静岡県、三重県等近

県で活動、その数五十有余に及ぶ神社仏閣を中心に建築修理に携わる。

大正二年 結婚、本間姓となり宝飯郡小坂井村へ転籍する。

大正十年 これより文化財建造物に就任することになる。

特別保護建造物(明治三十年制定の古社寺保存法により指定された古建築物)知立神社

多宝塔修理工事に従事

大正十一年 岐阜県の特別保存建造物、安国寺経蔵修理工

事主任。

大正十一年 岐阜県の特別保存建造物、安国寺経蔵修理工

事主任。

昭和十一年 大阪府の国宝、意

賀美神社本殿修理工事及び国

宝尾上神社修理工事監督。

昭和十一年〜十二年 愛媛県の

国宝、松山城乾門、同隅櫓等

修理工事主任。

昭和十二年〜十四年 青森県の

国宝、弘前城三の丸追手門二

の丸辰巳櫓等修理工事監督。

昭和十四年〜十五年 岡山県の

高梁城修理工事主任。

昭和十六年〜十七年 兵庫県の

大正十一年〜十二年 富山県の特別保存建造物、雄山神社前立社壇修理工事主任

大正十二年〜十三年 福島県の特別保存建造物、勝常寺薬師堂(会津中央薬師堂)修理工事主任。

大正十四〜十五年 京都府の特別保存建造物、円融寺本堂修理工事主任

大正十五年〜昭和二年 福島県の特別保存建造物、八葉寺阿弥陀堂修理工事主任。山梨県の特別保存建造物、山梨岡神社本殿修理工事主任

昭和二年〜三年 千葉県の特別保存建造物、西願寺阿弥陀堂修理工事主任。

昭和三年〜四年 静岡県の国宝建造物(昭和四年国宝保存法制定により特別保存建造物は国宝となる。以下「国宝」と記す)本興寺修理工事主任。

昭和五年 山形県の国宝水上八幡神社本殿修理工事主任。

昭和五年〜六年 岩手県の国宝、中尊寺金堂及び履堂並びに経蔵修理工事主任。

昭和六年〜八年 長崎県の国宝、福濟寺本堂、前堂、回廊修理工事主任(原爆により焼失)

昭和九年〜十年 長崎県の国宝、崇福寺大雄殿、護法堂等修理工事技手。

昭和十一年 大阪府の国宝、意

(引用文献)

加藤建夫 編著

『本間兼五郎

くみちのくに眠る北設楽の木

匠』

(設楽町文化財保護審議会委員

村松豊太郎)

紙面の都合で関係する多くの匠を紹介することが出来ませんでした、機会あれば紹介していきたいと思ひます。